

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-38884

(43)公開日 平成6年(1994)5月24日

(51)IntCl⁵

D 0 6 F 13/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6704-3B

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 実開平4-84153

(22)出願日 平成4年(1992)10月23日

(71)出願人 592065531

新居 高行

千葉県市川市関ヶ島12番12号 ホワイトハイツ110号

(72)考案者 新居 高行

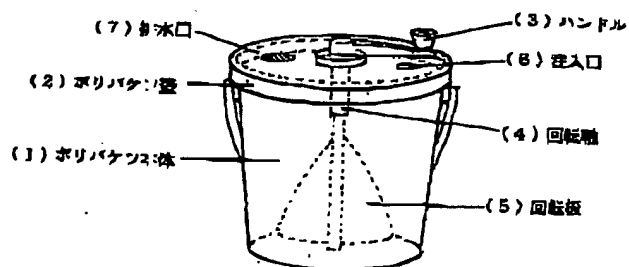
千葉県市川市関ヶ島12番12号 ホワイトハイツ110号室

(54)【考案の名称】 手動式洗濯器

(57)【要約】

【目的】 電気洗濯機を置けないオフィス、職場、電気が使えないような場所(山小屋、船舶等)、一人暮らしの人、屋外で少量の洗濯物を洗う洗濯器である。

【構成】 ポリバケツ(1)の蓋(2)の部分内側へ2枚の回転板(3)と回転軸(4)をもうけ、蓋の外部にハンドル(5)を付けた洗濯器。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ポリバケツ（1）の蓋（2）の部分内側へ2枚の回転板（3）と回転軸（4）をもうけ、蓋の外部にハンドル（5）を付けた洗濯器。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案の構造説明の斜視図である。

【図 2】 本考案の網のゲージ構造説明の斜視図である。

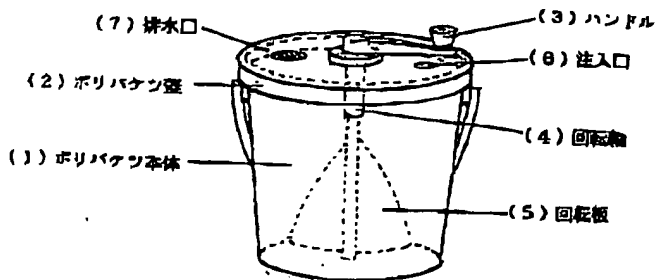
【図 3】 本考案の回転軸と回転板の接続構造説明の斜

視図である。

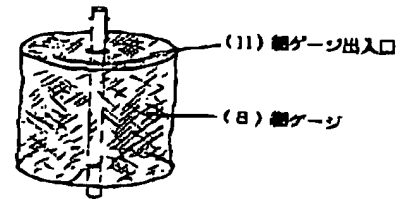
【符号の説明】

- | | | | | | |
|----|---------|------|------------|---|----|
| 1 | ポリバケツ本体 | 2 | ポリバケツ蓋 | 3 | ハン |
| ドル | 4 | 回転軸 | | | |
| 5 | 回転板 | 6 | 注入口 | 7 | 排水 |
| 口 | 8 | 網ゲージ | | | |
| 9 | 回転軸凹部 | 10 | 回転板・網ゲージ凸部 | | |
| 11 | 網ゲージ出入口 | | | | |

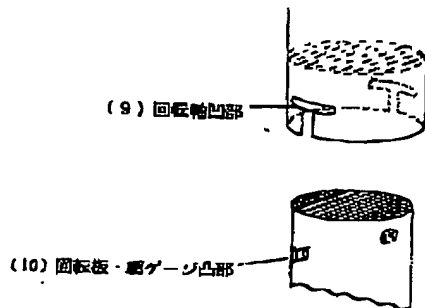
【図1】



【図2】



【図3】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

この考案は電気洗濯機を置けないオフィス、職場、電気が使えないような場所（山小屋、船舶等）、一人暮らしの人、屋外で少量の洗濯物を洗う洗濯機である。

【0002】

【従来技術】

従来は、たらい、洗面器、バケツを使用した。小形の電気洗濯機もある。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

これは次のような欠点があった。

- (イ) 小形の洗濯機は小形ではあっても設置場所が必要で、電気が使える所でないと使用できない。又、清掃メンテナンスも必要である。
- (ロ) バケツや洗面器で洗うと汚水や洗剤等が手に触れて不衛生である。
- (ハ) 手に傷等があるときは尚更である。
- (ニ) 冬期、屋外や寒冷地では冷水での洗濯はつらいものがある。

【0004】

【課題を解決するための手段】

ポリバケツ（１）の蓋（２）中央部分に穴をあけハンドル（３）を設け、下部に軸（４）と２枚の回転板（５）を連結する。補助具として網のゲージ（８）をつける。

【0005】

【作用】

ポリバケツ（１）の中へ洗濯物を入れ水と洗剤を入れ蓋（２）をかぶせハンドル（３）を手で回転し、回転板（５）を回して洗濯する。

【0006】

【実施例】

以下、本考案の実施例について説明する。

ポリバケツ（１）の中へ洗濯物を入れて水と洗剤を入れ、蓋（２）をかぶせハンドル（３）を手で回転し、２枚の回転板（５）を回して洗濯する。洗濯物の汚染度、材質等により回転速度と回転数を調節する。洗濯が終了したら排水口（７）より排水し、注入口（６）よりホースを入れ水を流してすすぐ。

又女性のストッキングやランジェリー、セーター等は補助具の網のゲージで洗い、すすぐ。脱水はこの補助の網のゲージ（８）に入れ回転させ脱水する。

【０００７】

【考案の効果】

オフィスや職場でタオル、ふきん、雑巾等を洗濯するときや、大形の電気洗濯機の未購入の独り暮らしの人や学生の下着、肌着、洗い等に適すると思われる。屋外の作業場や電気の使えない山小屋や山村、船泊等や寒冷地での使用に良い。

また、他の使用法としてスープ、ソース等食品の攪拌混合、飼料の混合、芋を洗う事にも使用できる。使用しない時は、普通のポリバケツとして使用できる。

【０００８】